

園だより



こうのとりの

令和 6 年 6 月 25 日発行
＜7 月号＞
学校法人佐賀学園
神野こども園
園長 陣内富子

登園後、遊び始める前に ～自分のことは自分で～

園だより 5・6月号で「遊びは学び」、子どもたちの遊びの中にたくさんの学びがあることをお伝えしました。園生活では、子どもたちが遊びに入る前に、まず健康な生活リズムを身に付けることを大事にしています。登園後、靴を上靴と履き替え、バッグを自分の棚に入れ、水筒やカラー帽子とタオルを所定の位置にかけるなど、年齢に応じて自分の道具を自分で片づけることを日々行うことで習慣となるよう声をかけています。一人ひとりにペースがあり、自分でしようとする気持ちを大事にしながら、先生たちはかかわっています。朝の苦手さや、保護者の方と離れることの寂しさ、友達が気になるなどのいろいろな要素から、登園後の支度に時間がかかってしまうことも多々あります。子どもたちが、自分でできることを増やし、遊びに向かう気持ちが高まるよう見守っていきたいと思います。



研究保育で保育の質の向上をめざします

今年度も、日々の保育の質向上をめざして、園内研修（研究保育）に講師をお迎えして進めています。今月は吉牟田美代子先生（佐賀女子短期大学名誉教授）、来月は宮崎祐治先生（佐賀県保育幼児教育アドバイザー）をお迎えして行います。2学期にも3回行う予定です。

6月13日に行った年少組の研究保育では、まず前日までの遊びから「知識や技能の基礎」「思考力・判断力・表現力の基礎」「学びに向かう力、人間性等」が見える場面について確認しました。そして、当日の遊びにつながっていること、さらに発展していつていることなどを、子どもの様子やお友だちとの対話などから気付くことができ、子どもたちが日々成長していることを感じました。今後も、子どもたちが没頭できる遊びとなるよう、どんな思いをもってその遊びに向かっているのか、どんな環境が必要かなど、研修を深めていきたいと思います。



テーマ「子どもたち同士で楽しむ夏まつり」

7/5(金)に行う夏まつりは、年長児と年中児が企画・準備・運営する出店を園児みんなで楽しめます。年長児と年中児は、日頃の遊びの中から生まれたものを出店の内容に発展させていきます。これから各クラスで意見を出し合いながら企画が固まっていくと思います。まさに子どもたち手作りの夏まつりです。

オープニングはみんなで盆踊りをして盛り上げます。当日の履物はいつも履いている運動靴ですが、服装は自由とし、浴衣や甚平も OK です。浴衣や甚平の場合は自宅から着て登園するようお願いします。夏まつり終了後、昼食前に体操服に着替えます。体操服で登園しても大丈夫です。(6/17 配布文書参照)

*裏面へ ⇒ 7月・8月行事予定、夏季休業中の職員研修、プールを活用した水遊び、夏休みの預かり保育、職員紹介

【お知らせ】職員紹介 スタッフが2名増員となりました。6月中旬から預かり保育担当として1名、7月から保育園部フリーとして1名加わります。どうぞよろしくお願いします。